

中川村議会だより第136号（2024年3月議会）アンケート結果

1 136号の表紙について

- ◆ いよいよ北島さんの絵がでてきましたね。農村を丁寧に描写していて味わいのある素晴らしい絵だと思います。
- ◆ 明るい日差しの下の田んぼに息づく生き物達。鬱蒼と緑が茂る森の奥に潜む生き物達。いよいよ生命活動の活発な初夏になりますね！
- ◆ 今にも起き上がりそうな人！さすがのインパクトで引き込まれました。少し深い森のすぐ前での農作業はとても身近に感じられる素敵な作品ですね。
- ◆ また新たな作家さんの作品が掲載されてうれしいです。個人的にはですが、南陽の小沢健二さんの版画おススメです。
- ◆ 始めて北島さんの絵を拝見しました。力強さを感じる絵ですね。
- ◆ いいですねえ～「生きる」帽子背中腰でエネルギーが伝わります。周りの緑の力強さも迫ってきます。私も来週は田植えです。腰が痛いし膝も心配なひ弱な婆さんですが、この絵を思い出しながら頑張ります。今の季節にぴったりのいい絵を選ばれましたね。
- ◆ 表紙のイラストが大きく、目を引きます。優しいタッチの絵で素敵でした。
- ◆ 村の象徴的な原風景が感じられて良いです。
- ◆ 素朴な中川村の日常の風景が描かれていて良い。
- ◆ 昔ながらの田舎のいち場面を切り取った、どこか安心感を見る人に与えられる素朴でいてなんとなく温かいような、そんな素敵な絵だと感じました。

2 136号の紙面構成について

- ◆ 見やすくしようと心がけて作成されていることが伝わってきます。
- ◆ 身近な場所や人などが出てくると見ていて「おっ」と思います。
- ◆ 見出しが紙面上面にくっきりと見やすくなりました。
- ◆ とても見やすいと思います。
- ◆ モニターさんのご意見がさっそく反映されていて、「一般質問」のコーナーがとても読みやすくなっていました。
- ◆ 「バイオマス研修会報告」のページ、とても興味深く読みました。紙面が限られているので仕方ないのかもしれませんが、各出席者のご意見の羅列のみで終わってしまい「活発な議論」の中身が見えてきません。
- ◆ 予算に関する構成はとても見やすいと感じました。
- ◆ 今年度から森林環境税が住民税を併せて徴収されますが、これにより市長村へ譲与される譲与税の費用はどのように使われるのかの説明を入れてほしかったです。
- ◆ 緑の白字抜きが読みにくいと先号で書きましたが、さっそく直っていてびっくりしました。紺色系、とてもいいです。村議会広報コンクールもあるんですね。伝えた

いことがいっぱい字を減らせないのもわかりますが、やはり目の弱い高齢者とイラスト慣れの若者にも読んでもらうには、少ない方がいいですね。寄居町の広報検索してみようと思います。写真も多く、大きく見出しがはっきり、今号なかなかいいと思います。

- ◆ 青色に変更になりとても読みやすかったです。ただ、色味としてはすこし味気ない感じがしました。緑のときは柔らかい感じでよかったです、文章は読みにくかったので、一長一短だなと感じました。写真もたくさん使われていて、注目内容は大きな見出しになっていて、読みやすくなったと感じました。
- ◆ 写真やイラストが沢山あり、興味を惹かれる感じになります。個人的にはバックグラウンドや飾り野的なものをもう少しシンプルにした方が良いかと思いますが。ちょっとうるさい雰囲気かな？
- ◆ 予算特別委員会の説明は写真が大きく、写真を見ればその内容が想像しやすく分かり易い紙面だった。
- ◆ とても読みやすく、丁寧にまとめられていて良いと思います。あとメインカラーが緑から青に変わって、新鮮だからそう感じる部分もあるとは思いますが、何となくさわやかな印象を受けました。
- ◆ 紙面“構成”という観点からは少しずれてしまいましたが、写真が白黒ではなくカラーだと個人的にもっと読みやすいかなと感じました。

3 136号の記事の内容について

- ◆ 大きな金額の予算がかかっているだけに歴民館がどのように生まれ変わるのかは大変気になります。設計図や完成予想図など完成後の様子がわかるものがみてみたいです。
- ◆ 請願審査について、討論の様子を含め丁寧に扱っていることに好感が持てます。
- ◆ はっぱ屋さんは新規就農の成功例といってもいいのではないかと思います。こうした先例を次につないでいけるように村でも後押ししていただければと思います。
- ◆ チョコッと訪問はご近所の方の記事が載っていたこともあり、より興味深く拝読しました。
- ◆ 皆さん、補助金をうまく活用されているんですね。就農者の方達が十分な利益が得られ、村全体の農業が活性化し未来に繋がっていくよう願っております。
- ◆ ゴミ袋の記名の代替案の検討ありがたいです。少しでも家事が少なくなることはどんな方にもプラスの事だと思います。
- ◆ バイオマス研究会の報告。「菌床おがくずの再利用」等で検索してみました。いろいろな方法はあるようですがなかなか難しい問題なのだと感じました。今後の報告が楽しみです。
- ◆ 長尾議員さんの一般質問のところ、とても共感が持てました。今年度新しく「子ども家庭センター」が発足したのをきっかけにして各部署が一カ所に集まれば連携が

とりやすく、職員も動きやすくなるのではないだろうか。小中統合後の東校舎がそれに使われたら本当にベストですね・

- ◆ 福祉事業を一カ所にまとめるというのはとても良い考え方だと思います。空いている公共施設をうまく活用してほしいです。
- ◆ P2～P7 まで多くの紙面を割いていただき、令和 6 年度の予算についてわかりやすく解説があり良かったです。歴民館の工事関連で約 4 億円もの予算が使われていることに驚きました。これまでのイメージから一新し、明るく・入りやすく・誰でも・何度でも来たくするような建物になってほしいです。
- ◆ ※ 地震の教訓から学ぶこと、総合福祉センターのこと、新しい学校のこと、これからの農業のことなど村民が心配したり興味をもったりしていることを議題にして下さっています。
- ◆ ※ゴミの氏名記入について 無い方がいいです。でも、都会からここに来てゴミ集積所がきれいでびっくりしました。名前があるからかな、と思いました。名前が無くても今の清潔感が保持できればいいのですが。飯島町の番号はいいアイデアかもしれません。
- ◆ ※新しい学校 教育長の「様々なやり方でじっくりと裾野を広げていきながら」に賛成です。子供が関わる若い方たちだけでなく、勢いのある人たちだけでなく、年寄りの声も聞いてほしい。長年地域の中心だった、こと学校に関しては「年寄り口をだすな」ではなくいろいろな話し合いの場を作ってほしいです。
- ◆ ※チョコッと訪問 新規就農者の話題 農業と言えば暗い話が多い中で新しい挑戦をし頑張っている様子がわかりました。果樹に菜っ葉に花にそれぞれのご苦勞を知りました。課題も多いのに、勉強をし、工夫をし、前向きに取り組んでいる様子を敬意を表します。がんばれ～と応援しています。
- ◆ ※歴民館 新築増築 嬉しいことです。寒い 暗い、2 階へ不便なあの歴民館が生まれ変わるのは楽しみです。3 億 9730 万もかかるのですね。せっかくハード面は素晴らしくなるのですから、ソフト面にもお金を使ってください。今の火曜日本曜日しか開館しないのは変わりますか。何かを調べたい時火曜日と木曜日に合せていくことはできません。図書館と同じで休館日は週 1 か 2 にして気軽に行ける親しみやすい資料館にして下さい。議会だよりも読んでもらわないと意味がないように資料館も来て使ってもらわないと宝の持ち腐れになってしまいます。
- ◆ 個人的な意見になってしまいますが、ゴミ袋の氏名記入の廃止については大賛成です。近隣市町村で個人名を記入するところは殆ど聞かないので、別の方法に是非変えてもらいたいと感じました。
- ◆ チョコッと訪問については、写真も大きくなり、中川村で頑張っている人を知ることができてとてもいい内容だと思いますので、これからも楽しみにしています。
- ◆ 議会広報員会が常任委員会となり、電子化等検討されているのかなと感じました。

デジタルの時代にあった広報発信を楽しみにしています。

- ◆ 予算特別委員会の頁が写真付きで対象物件が実感でき、わかりやすいと思います。
- ◆ チョコッと訪問コーナーが良い。知っているようで知らなかった知人の仕事ぶりや、その中身の理解が進んで良いと思います。
- ◆ ・地域防災計画の見直しについて 地区単位の助け合いマップも大事だが、地区ごとにハザードマップを作った方がいいのではないかと思う。大きな地図ではいまいち実感が湧かないが、実際に自分の住んでいる地区だけのハザードマップがあるにより現実的に認識できると思う。また地震、大雨など起きる災害によって対応も違うと思う。いろいろな災害を想定して地区ごとに対策を練っておくことも大事だと思う。
- ◆ ・ごみ袋の氏名記入はやめよう。賛成です。ごみ出しで問題が起きた時だけに、誰がだしたか分かればいいだけのこと。他の人が見て誰のごみか分かる必要は全く無いと思います。興味がなくても名前が書いてあると見てしまう事があります。各家庭ごとの記号番号化など早急に実現してほしいです。
- ◆ 2ページ目に記載されてある、【未来をつくるための事業】の中の“人・農地問題解決事業”の金額を見て驚きました。こんなにも大きい金額が恐らくこれまでも村から支援されてきたのだらうなと思うと少し衝撃でした。しかし、農業に関わる費用は農業機械をはじめ結構高額であるため、この先村の農業の担い手の減少と高齢化を鑑みるに、農業機械類の利便性が今まで以上に求められると思います。そう考えるともう少し予算を割り振った方が、村の農業というビジネスの発展により効果的にアプローチできるのではと思いました。

◆

4 議会広報ならびに村民と議会のコミュニケーションについて

- ◆ デジタル化が進み、広報作成は簡便化が推進されているのですね。
- ◆ 情報収集能力や処理能力が上がる以上にクオリティが問われ、広報担当委員の皆様いつもたいへんなご苦勞をされていることと思います。
- ◆ ホームページの閲覧に統一すれば編集側も読者側も楽なのだろうと頭では分かっているけど、私は紙面の方が手に取りやすいと感じてしまいます。
- ◆ 人が多く集まるつばめマーケットに併せてなにかできるとコミュニケーションも取りやすいのではないのでしょうか。
- ◆ 「議会広報委員会を常任委員会とする」とても良いことですね。タブレット配分によりこのモニターアンケートもデジタル化をしたらどうでしょう。例えばフォームを作りQRコードからモニターのページに入れるようにするとか？
- ◆ 議員さんと地域住民との車座集会など、定期的に気軽に開いてみるのはどうでしょうか。

- ◆ 議会だよりを編集する委員会の方の姿が村民の目に映る機会があると、もっと手に取ってもらえるかも・・・と思います。
- ◆ 議会広報委員会ご苦労様です。
- ◆ 計画・立案・校正・写真データすべてを5人でやっているなんて時間も才能もセンスも必要ですね。そういうご苦労をもっと宣伝してもいいと思います。今回の写真も効果的です。皆さん一生懸命。
- ◆ 村民が任意で参加できる議会のイベント（単に意見要望など訴える集会でも良いが）があれば良いかと思います。興味深く、楽しそうなタイトルをつけて、何か飲食など、できれば無料で振る舞っていただけるとより多くのいろんな人たちがそれに釣られて集まると思いますが、いかがでしょうか。
- ◆ 今回のチョコっと訪問はこれまでより大変興味深く感じました。私の周りでは「農業をやりたい」という人は全くいないので、今回紹介して下さったお三方の記事を読んで、農業系の仕事をしている人間のひとりとして、とても応援したくなりました。ぜひ今後ともこういった新規就農者の方々の記事を載せて、より多くの人に補助金の存在の周知だったり、就農に関する関心を集めて、より太く、農家さんと村が繋がって双方の発展に繋がるといいなと思いました。
- ◆ 議会だよりの5ページ目に記載されてある、中学生の声で実現した外トイレの洋式化等の記事を読んで、小学生中学生と村がコミュニケーションをとることはちょこちょこあったとしても、高校生大学生が村と話し合う場面であったり、何かしらで交流する機会が少ないのかな、とも思ったので、中々難しいとは思いますが、そういった場面を設けられたら何か見えなかった部分が見えてくることもあるのかな、とおもいました。

5 議会・村に対するご意見・ご要望

- ◆ 文化センター和室出窓のところの天井の部分の剥がれ、早速補修していただきありがとうございます。
- ◆ 和室を使う際は年配の方が多いのですが、皆さん膝や腰に問題を抱えていらっしゃる。数脚でよいので和室用の椅子があると助かると思います。
- ◆ 交流センター立ち入りづらい。以前のようにチャオとつながるといいのにといつも思う。
- ◆ 耕作放棄地および空家の再生について本気で取り組んでいただかないと10年後どうなってしまうのか、本当に不安を感じています。
- ◆ 物価は上がっていますが、賃金の上らない時代…。なかかわ生活応援券には非常に助けられていますので、もうしばらく販売してほしいと思います。生活応援券を購入すると、村外の安いスーパーでなく、村内で消費しようという気持ちになりますので、期待しています。
- ◆ 民意というよくわからない大まかな概念の元、積極的により良い方向を目指して働

きかけることはそう簡単なことではないと思います。皆様には頑張ってくださいです。

- ◆ 今からこの意見が間に合うのか分かりませんが、ぜひ今年のどんちゃん祭りは屋台を昨年の倍以上に増やしていただくと嬉しいです！

6 その他（お気づきのこと ご意見を自由に）

- ◆ チャオの自動ドア入口のレンガ張りの部分。傾斜があり割れているところもあったりでカートが引っかかったり押しづらい。力がなくなり足元もおぼつかなくなってきた母が「カートを押してつまづくこともあるし、買い物後のカートも重さで流れていってしまうので体が引っ張られて転びそうで怖い」と言っていました。重いカートの操作には力が必要です。ここに記入することではないと思いますがいつも気になっています。
- ◆ ブルー系の紙面も読みやすかったですが、この際ですから毎号いろいろな色を試してみるのはいかがでしょうか？笑
- ◆ 先月、人口戦略会議の分析レポートが発表されました。2020 年時点のデータで消滅可能自治体にはなっていませんが、2050 年には人口が 3600 人余と言われている中、これから先を見据える対策が必要になってくるのではないのでしょうか。税収、交付金が減っていくことを考えると、できるだけコンパクトな村にしていくべきではないかと思います。
- ◆ 中学校の木曽駒登山が中止になりました。とても残念です。目の前にある山へ大変な思いをしながらもみんなで登ることは「地域の特色を生かした教育」ではないのでしょうか。山を生かさずもったいなさ過ぎ。上伊那郡ではやめたのは初めてです。ある会で校長先生がやめた理由として
 - ① 服装 靴 等にお金がかかり保護者の負担が大きい。
 - ② 能力差が大きく個人個人に対応ができない。
 - ③ 大きな学校からいい日程をとってしまい、中川は日程的にも厳しく天候も悪い頃が多い。この何年間眺望がよかったことがない。など言っていました。なんの行事でもやめる理由などいくらでもあります。なんとか知恵を絞れなかったのでしょうか。たとえば
 - ① レンタルはないか。先輩保護者にゆずってもらうシステムとか。
 - ② 中川には登山ガイド級の方が何人もいるので、意見を聞いてみるとか付き添いをお願いするとか。弱弱しい生徒が登山で自信をもつことなんていくらでもある。
 - ③ こんなのは差別。調整する人に抗議したことはあるのでしょうか。長年歴史のある行事を学校の職員会だけで結論を出してしまっていていいものなのか。残念がっている人はいっぱいいます。いろいろな人の声を聞いてほしかったです。そしてやむを得ず なら仕方ないけど。ここで止めたら復活は難しいかもしれませんが、再検討を願っています。

- ◆ 広報委員の方も色々創意工夫しながら、広報誌を作ってくださっていることがわかり、モニターを始めてからかなり読みやすくなったと感じました。これからも楽しみにしています。